

ノーサイド

「何だかんだ言っても、局長、所詮あ

だ吉田裕著「日本軍兵士

アシア・太平洋戦争の

現実」(中公新書)と鴻

兵 軍神はなぜ上官に反

抗したか」(講談社現代

新書)が挙げられます。

更に、かつて読んだ尾川

正二著「死の島 ニューギ

ニア」(光文社NFD文庫)

なたが現地

もちろん戦闘行為が行わ

れている地域に行くわけで

はありません。しかし、自

た6月23日を、今年も間も

なく迎えることからです。

系浜市摩文仁の平和記念

公園にて行われる「平成30

年沖縄全戦没者追悼式」に

は、自衛隊の最高指揮官た

機に制定されたテロ対策

も言いたいのではない不安だ

は、自衛隊の最高指揮官た

責任者である防衛大臣も参

列されることでしょうか。

もちろん、今は昔の日本

の論理や対応のひとき。

昨年米評判の吉野源三

郎の「君たちはどう生き

るか」の中で、叔父さん

待措法に基づき、海上自

衛隊の補給艦や掃海母

艦、護衛艦のインド洋派

遣について、その日私は

自衛党国防部会で説明し

質疑に対応していまし

た。そのとき国会議員の

一人から投げかけられた

一言です。「もった、実

際に行かされる隊員や家

族の立場に立って考える

べきだ」

その後

2次隊、3次隊と進むにつ

れ、出発時の雰囲気は徐々

にですが、確かに変わって

いすつも隊員を行かせる人

隊の任務

は拡大

になりまし

身は、どこに行かされる

こともなく、いわば行か

せる立場のまま防衛省・

自衛隊を退職しました。

そんな中、今でも思い

出すのは、2004年2

月に厳寒の旭川で行われ

た第1次イラク復興支援

群の出発式。いよいよイ

ラクのサマワに向け出発

のときが来ました。家族

の皆さんが大きな声援と

涙で見送る中、口を真一

問題により、厳しい状況の

そして第三に、最近読ん

長

北原 巖男(きたはらい

わお)

中央大学。70歳。長野

県伊那市高遠町出身。元

自衛隊を退職しました。

ちの緊張も一箇して続きま

した。この間、現地に派遣

された隊員をしてその家族

の皆さんの気持ちは、いか

ばかりだったでしょう。

第二は、日大アメリカン

フットボール部による悪質

な反則行為の生起です。特

思っています。

が撃ち込まれる事象が発生

するなど、日本にいる私た

ちの緊張も一箇して続きま

した。この間、現地に派遣

された隊員をしてその家族

の皆さんの気持ちは、いか

ばかりだったでしょう。

後対応の悪さと危機管理の

稚拙さ、監督と選手との間

の緊密な信頼関係の不在が

ありませぬ。

任問題。更に日大当局の事

後対応の悪さと危機管理の

稚拙さ、監督と選手との間

の緊密な信頼関係の不在が

ありませぬ。

限伊那市高遠町出身。元

防衛施設庁長官。元東テ

イモール大使。現(一社)

日本東イモール協会会

行かせる人と

行かされる人

い国際軍事情勢の中で、叔父さんがコベルクに語っている言葉もキッカケの一つは拡大し、隊員

の責任は一層重くなってい

ます。首相、防衛大臣は、どこまでも行かされる立場の隊員とその家族について

しかし宿營地に迫撃砲弾

れる人ではありません。

が撃ち込まれる事象が発生

するなど、日本にいる私た

ちの緊張も一箇して続きま

した。この間、現地に派遣

された隊員をしてその家族

の皆さんの気持ちは、いか

ばかりだったでしょう。